

経営改善計画の取組について

1. 平成22年度経営改善計画達成状況

(単位:人/日, %)

	計画値(A)	実績(B)	B-A	B/A
輸送人員	86,700	85,100	▲1,600	98.2

(単位:百万円, %)

	計画値(A)	実績(B)	B-A	B/A
運輸収入	6,614	6,439	▲175	97.4
運輸雑収	1,745	1,695	▲50	97.1
人件費	1,722	1,604	▲118	93.1
経費	2,948	3,067	119	104.0
営業損益	▲1,697	▲1,835	▲138	92.0
経常損益	▲4,470	▲4,116	354	107.9
当期損益	▲4,475	▲4,134	341	107.6

2. 取組状況

(1) 増客増収

ア 輸送人員の増加

PR活動・ 営業活動 の強化

運賃の多様化

- SR東京メトロパスの発売【29,883枚発売】
- GW一日乗車券, 土休日一日乗車券の発売【7,637枚発売】

沿線イベントのPRと参加

- 第70回記念春の大花植木まつり・一輪草祭り、縁JOY！鳩ヶ谷フェスタ等に出展

自治体等と沿線地域の観光名所の開発と発信

- 埼玉高速鉄道沿線ガイドマップの作成に協力

イベントの開発・開催

- 沿線ハイキングの開催【年4回開催 3,481人参加】
- 車両基地見学会の開催【3,019人参加】

駅の賑わいづくり

- ミニ庭園を東川口駅、戸塚安行駅構内に設置
(安行緑と環境の街づくり協議会と協調)【10月6日～10月30日】
- 絵画を戸塚安行駅に掲出
(住友生命と協調)【10月23日～11月3日】

駅ポテン シャルを最 大限に活用

沿線施設との連携の強化

埼玉スタジアム2002の活用促進

- 日本代表戦に合わせラッピング電車の運行【5月8日～25日】
- 埼スタタ涼みフェスタに協力【8月8日】

その他沿線施設との連携・強化

- イオン浦和美園ショッピングセンターと連携
→ 土休日一日乗車券のPR協力【6月25日】
- 鳩ヶ谷郷土資料館と連携
→ SR10周年記念特別展に協力【2月19日～3月29日】

利用者サービスの向上

接客サービスの改善

- サービス介助士資格取得【3名】
- 電車シートの交換【3編成】
- ホームベンチの改良【鳩ヶ谷駅、新井宿駅】

	22年度
数値目標	86,700人/日
実績	85,100人/日



	31年度
数値目標	131,000人/日
実績	-

イ 運輸雑収の増加

オリジナル グッズ販売

浦和レッズ等と連携したオリジナルグッズの企画・販売の強化

【レッズコバトンシリーズ売上合計 14,095千円】

- レッズコバトン(ホーム・アウェイ) 【6,166個販売】
- レッズコバトンミニ(ホーム・アウェイ) 【7,390個販売】
- レッズコバトンストラップ(ホーム・アウェイ) 【3,618個販売】
- レッズコバトンキューブストラップ(ホーム・アウェイ) 【3,258個販売】
- 特大レッズコバトン 【606個販売】

広告収入 の増加

新規広告媒体の開発 既存広告媒体の見直し

【新規広告媒体売上合計 160千円】

- 車内ドアガラスステッカーの開発 【5月】
- ツインステッカーの見直し 【5月】

ウェブマーケティングの推進

彩モール・ネット広告の活用

- レッズコバトンシリーズ 14,095千円
- 鉄道むすめ【フィギュア, ステーションポスター】 724千円
- 東京メトログッズ【懐かしの電車シリーズ(文具)】382千円
- コバトンFCTシャツ【浦和フットボール通信社共同企画】431千円
- 新井園本店【お茶, お菓子】125千円

	22年度
数値目標	100% (1,745百万円)
実績	97.1% (1,695百万円)



	31年度
	112% (1,956百万円)
	-

(2) 経費削減

ア 組織体制の見直し、人件費の削減

本社管理部門の見直し

本社管理部門の業務体系を継続的に見直し効率的かつ機動的な組織の確立

- 経営企画室の廃止（5部1室 → 5部）

適正な社員配置の追求

安全・確実な運行の確保を前提に各部門の業務内容を精査し、適正な社員配置の追求

- 経営企画部門1名減
- 多客輸送時の要員配置の見直し（1試合平均5名削減）

人件費の削減

計画初年度から28年度までの7年間で総額2億円の削減

- プロパー化の推進（出向社員9名減）

	22年度
数値目標	① 正社員数 242人 ② 出向社員比率 9.2% プロパー社員比率 75.9% ③ 運輸収入に対する人件費比率 26.0%
実績	① 正社員数 239人 ② 出向社員比率 6.0% プロパー社員比率 76.1% ③ 運輸収入に対する人件費比率 24.9%



	31年度
① 正社員数	240人
② 出向社員比率	0.0%
プロパー社員比率	85.0%
③ 運輸収入に対する人件費比率	16.3%
	-

イ 経費の削減

多客対応 の見直し

サッカー等多客輸送時の配置要員、 臨時列車の運行本数の見直し

- 配置要員の見直し（1試合平均3名削減）
- 臨時ダイヤの見直し（増発列車1試合平均2本削減）

現行の契約方式、業者選定方法を適正に運用

- 競争入札の拡充（駅清掃業務、パソコンリース）

損害保険等 の見直し 複数年契約によるコスト削減

- 財産総合保険の複数年契約や補償内容の見直しの実施【▲275万円】
（保険期間1年 → 3年契約、加入先、補償内容の変更）

契約の見 直し

	22年度
数値目標	100% (2,948百万円)
実績	104.0% (3,067百万円)



	31年度
	103% (3,034百万円)
	-

3. 平成23年度の取組(主なもの)

平成22年度までの事業について、効果・効率的なものは引き続き継続するとともに、新たな事業に取り組むものとする。

(1) 増客増収

- 埼玉B級ご当地グルメ王決定戦の開催(5月1日 来場者25,000人)
- 花植木まつり&大盆栽展との連携(10月8~10日川口緑化センター)
- 一日乗車券の発売
- コバトンシリーズグッズの販売(2011レッズコバトンの販売6月6日から)
- 新規テナント調整(東川口駅 旧定期券発売所)

(2) 経費削減

- プロパー化の推進
- 賠償責任保険の見直し(加入先の変更)